

新しいデータマイニング法の提案と医療応用 医療 IT 化と画像診断支援

2011/9/27(火) 17:30～18:30

大阪大学医学部 講義棟 2階 B 室

京都大学大学院医学研究科
人間健康科学系専攻

准教授 石津 浩一先生

ここ 10 年の画像診断装置の進歩はめざましく、画像の高精細化と撮像の高速化に伴い画像診断医にかかる負担が急増したことで、コンピュータ支援による診断の高能率化や精度向上が重要視されています。そのため、近年、IT 化により大量に蓄積された医療情報の有効利用として、データマイニング技術を応用した診断支援に関する検討が行われています。

石津浩一先生は、長年、画像解析装置、高精細三次元動画ビューア、核医学画像の動態解析手法などの開発をされており、活躍は多岐にわたっております。本講演では、今までの研究成果を紹介させていただきます。

また、石津浩一先生が新たに考案されたクラス分類器によるデータマイニング法の医療応用について初期的検討結果を示していただき、画像診断支援のあり方に関して考察していただきます。

略歴

平成 7 年 3 月	京都大学大学院医学研究科博士課程修了
平成 8 年 3 月	デンマーク・オーフス大学 PET Center に留学
平成 9 年 10 月	県西部浜松医療センター附属診療所先端医療技術センター副医長
平成 10 年 4 月	福井医科大学高エネルギー医学研究センター リサーチ・アソシエイト
平成 20 年 4 月	京都大学大学院医学研究科放射線医学講座（画像診断学・核医学）講師
平成 21 年 4 月	京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻 准教授

主 催:PET 分子イメージングセンター

連絡先:大阪大学医学系研究科核医学講座(06-6879-3461)

hatazawa@tracer.med.osaka-u.ac.jp

<http://www.tracer.med.osaka-u.ac.jp/index-jp.htm>